

国際ロータリー第2770地区

**THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN**

Weekly Report

例会日 毎週火曜日 12:30~1:30  
 例会場 山下工務店 大袋 GL2階  
 事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3  
 TEL 048-971-5320  
 FAX 048-971-5370  
 創立 平成2年5月22日

会長 山崎晶弘  
 幹事 小池和義  
 会報委員長 森紀二

**第1071回 例会会報 ガバナー公式訪問**

- ・例会月日 平成24年10月23日(火)
- ・例会場名 山下工務店 大袋 GL2階
- ・司会者名 太田洋寿 SAA
- ・来訪者名 田中徳尚第2770地区ガバナー(川口RC)  
関森初義第8Gガバナー補佐(越谷北RC)  
牟田知正第2770地区副幹事(川口RC)
- ・点鐘時間 12時30分
- ・齊唱RCソング 「奉仕の理想」
- ・発行月日 平成24年10月30日(火)

次月・次週インフォメーション

- 10/30 夜間例会  
 11/6 通常例会  
 11/13 通常例会

**会長挨拶**

山崎晶弘会長



皆さん、こんにちは。今日は田中徳尚第2770地区ガバナー、そして関森ガバナー補佐、牟田知正地区副幹事をお迎えしております。例会前の懇談会では小池幹事と共に様々なアドバイスを頂戴しました。この後はガバナーから

卓話を頂戴した後にクラブ協議会を予定しております。長時間にわたりますがご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

戦後67年が過ぎ、産めよ増やせよで終戦時に7,000万人だった人口が1億2700万人になり、追いつけ追い越せで破綻した経済は戦後19年でアジア最初のオリンピックを、23年で当時分割されていた西ドイツを追い抜いて世界第2位の経済大国へと発展しました。

しかし、物事には始まりがあれば当然のごとく終わりもあり、既に少子高齢化で若年層の人口が減って、気が付けば経済は地価も建築費も人件費も世界一高くなりました。日本で製造すればその分価格に付加され国際競争力が弱まるところから、生産拠点そのものが海外へと移転し、そのため国内に投資や雇用が減って不況となりました。

そのような状況下でわがクラブの会員数は最盛期の3割余りに激減しました。人口が減り経済が縮小する中、これまでとは異なる概念で発想しなければ会員増強はもとより、クラブの存続すら危ぶまれます！

初代武藤会長から脈々と続いたわが越谷中クラブの灯りを絶やさないためにも、会員増強をわがクラブの最優先課題とし、今年度から次年度へと灯し続けようではありませんか!!

**幹事報告**

小池和義幹事

1. 地区より「インタークト東日本復興支援募金実施日程変更のお知らせ」がきています。

日 時：11月17日(土) am9:30~pm12:30  
 場 所：大宮駅(西口・東口)、浦和駅西口、川口駅  
さいたま新都心駅コンコース

2. 地区より「クラブ研修リーダー参加の御礼」が寄せられています。
3. 地区より「2012-13年度 RYLA 研修セミナー参加募集の案内と要項」がきています。

実施期日：2013年3月22日(金)・23日(土)・24日(日)  
2泊3日

研修地：岩手県沿岸地域

募集人員 50名

募集期間：10月22日～12月末日

申し込み先：ガバナー事務所

4. 第8Gより「新年合同例会の案内」がきています。  
日 時：平成25年1月18日(金) pm6:00 点鐘  
場 所：ギャザホール
5. 例会変更のお知らせ  
越谷北RC  
11/18(日) 例会→地区大会 川口リリア  
12/19(水) 例会→夫人同伴クリスマス夜間例会

6. ロータリー米山記念奨学会より「特別寄付金明細書送付の案内」がきています。

武藤会員は第4回米山功労者、仲会員と大野会員にも感謝状が贈られています。

7. 文教大学外国人留学生別科中村様より「国際食文化交流会の説明会実施希望日程」についてメールが寄せられています。

説明会：10月25日(木) pm3:50～  
\*文教大学へ伺います。

8. フィリピン支援の件でジェロニモ・ブリヨさんからメールが寄せられています。添付画像と共に回覧しますのでご覧ください。



## 卓話

田中徳尚ガバナー

先ほどの懇談会で山崎会長から現況報告をいただき、増強をしっかりやって行くようにお願いをしました。たいへん美味しい食事が食べられるロータリークラブは少ないでしょう。25~30分の話の後にビデオをご覧いただきます。

私は川口ロータリークラブに所属しています。40歳で青年団を卒業した後に川口ロータリークラブに入りましたのでまだ20年、そんなに古い会員ではありません。92年に入って3年後からは、ほとんど毎年地区に出向しておりました。職業奉仕と新世代、これは初代の新世代委員長でしたので前例がなく何をやって良いかわからない状況でした。環境保全も同様です。超伝統的な職業奉仕から新しく設けられた新世代の委員長を経験し、職業奉仕委員長は都合3回、そして2008-09年に第50代川口ロータリークラブ会長として皆さんにたいへんお世話になりました。

さて皆さんもご存じのように、田中作次さんは新潟の中学校を卒業して集団就職で上京され、縁あって入られた文房具を一部上場会社にまでされました。経営者としてもたいへん素晴らしい方です。

田中会長とロータリーワークの出会いについてはタイムリーに「ロータリーの友」10月号の冒頭に載っていますので是非ご覧になってみてください。田中作次さんは八潮ロータリークラブのチャーターメンバーではあったのですが、それほど熱心ではなかったようです。ガバナーに就任してから清水さいたま市長、上田知事との懇談会、最後には野田総理にお目にかかる機会があり、その懇談会で田中作次さんが、「自分はロータリーに詳しくて入ったわけではありません」という話をされていました。あまり熱心ではなかったロータリアンの田中作治さんですが、例会の卓話（職業奉仕）で「なぜ仕事をするのか。なぜ重要なのか」という話を聞いてから少しずつ変わり、たくさん収入を得たい、会社を大きくしたい、他の会社に勝ちたいといったそれまでの姿勢が大きく変わったといいます。

ガバナーになりますと都合3回、ガバナーエレクト・トレーニングセミナーを受けます。国内で2回、最後はシカゴ（アメリカ）で約1週間ガバナーの勉強をしますが、その間に地区指導者としてのスピーチや様々な知識を得ます。今日本にいる34名のガバナーに対して田中作次会長は、「ロータリアンの指導者となったガバナーの皆さん、是非目標を高く持ってください。達成するために、これくらいならできるだろうというような低い目標ではなく、高い目標を立てて挑戦してください」というメッセージをいただきました。確かに考えてみると、一文房具店を一部上場会社にすることは普通で考えると不可能なことです。そんなことはできるわけがないという考え方ではなく、挑戦し続けて今の会社にまで大きくされたわけです。挑戦に次ぐ挑戦の人生だったのではないかと思います。そして発表されたのが“Peace Through



Service”です。

さて、皆さんのお手元にある計画書の13頁をご覧になってください。平和について言えば、その人が平和だと思った状態が平和であり、争いがなければ平和なのかと言うとそうではないのです。穏やかな気持ちで過ごせるような状態というふうにも仰っています。そして奉仕は片手間にやることや思いつきでやることではない、生き方だと書かれています。

さて“Peace”と“Service”は、われわれ日本人ロータリアンにとって非常に耳慣れています。奉仕の前に少し言葉を付けてみましょう。例えば職業奉仕は仕事を通じてわれわれは社会に役立っています。そして社会奉仕、国際食文化交流会のように地域の人と交流を進めることはまさに社会奉仕です。国際奉仕は、例えば地区の補助金を使って海外の困っている人を助けるといった奉仕活動もできます。新世代奉仕はこれから将来を担っていく若い方にリーダーとしての指導力を身につけてもらうもので、ロータリーが推奨しているインターラクトやロータラクトなどで培われています。こういう人たちが将来、地域などで指導者となっただければ、間違いなくその集団をいい方向に引っ張っていくでしょう。「奉仕の理念」を若い人にも持っていただくことが大事なことです。

私が地区新世代奉仕の委員長になった頃は実際に前例がなかったものですから何をすれば良いのかわかりませんでしたが、ロータラクトやインターラクトのように比較的チャンスに恵まれた人たちではなく、チャンスに恵まれなかつた人たちがなぜグレるかというところですね。メンバーに保護司の方がおりましたので、お願いをして少年院（少年の矯正施設）に伺わせていただきました。子供は16才位までがキーで、16歳を過ぎると自分の個性や人格がはっきりしてくるためそういう悪い方に行かないそうです。どうしたら悪い方向へ行かないようにできるのかと聞きましたら、自分のことを心配してくれる人、絶対裏切らない人が1人でもいればグレない。自分を必要とされなければ子供は自暴自棄になり、周りを引っ張り込んで悪い方へ行ってしまう。ではどうさせないためにどうしたら良いのかと質問したところ、「簡単です。挨拶です。おはよう、こんばんは、おかえりなさいといった挨拶をするだけでいい」と言うのです。それで子供はおかしな方向に行くことはないというお話をしました。私も実行しています。

というわけで、“Peace”と“Service”は人間として一番望ましい状態で、これほど価値のある状態はないでしょう。人間の尊厳が守られている状態です。Serviceはわれわれが最も大事にしている価値観もしくは行動です。そしてこの奉仕の前に新世代奉仕と国際奉仕をつなげていくとロータリーの活動がどうつながるかがよくわかると思います。

今日はロータリーの最新情報を皆さんにお伝えして少しでもロータリーの知識を深めていただきたいと思います。

### — RI取り組みの最優先事項について —

ボリオ撲滅は25年前にフリピンで撲滅活動が始まり、その後RIの主な活動となりました。世界でボリオのある国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ